

石原

フロンサイド® SC

(フロアブル)

®は登録商標



抗菌スペクトラムが広く、
広範囲の土壌病害に安定した防除効果を示します。

適用病害と使用方法(一部抜粋)

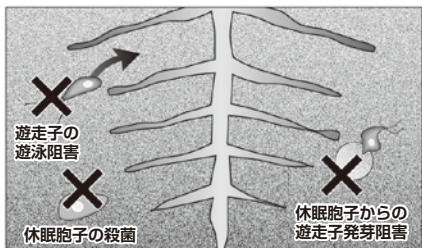
作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
		薬量 (ml)	希釈水量 (ℓ)				
はくさい	根こぶ病	500	100~200	定植前	1回	全面散布 土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
	尻腐病 軟腐病				1回	全面土壌散布	
キャベツ	根こぶ病	500	150~200	は種または 定植前	2回以内 (苗床では1回以内、 本圃では1回以内)	全面散布 土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、 本圃での土壌混和は 1回以内、土壌散布は 1回以内)
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 菌核病				1回	全面土壌散布	
かぶ	根こぶ病	500	100~200	は種前	1回	全面散布 土壌混和	1回
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)						
ブロッコリー カリフラワー	根こぶ病	500	100~200	定植前	1回	全面散布 土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
レタス 非結球レタス	ビッグヘイン病 すそ枯病 軟腐病 すそ枯病				1回	全面土壌散布	



石原バイオサイエンス株式会社

抗菌スペクトラムが広く、広範囲の土壤病害に安定した防除効果を発揮します。

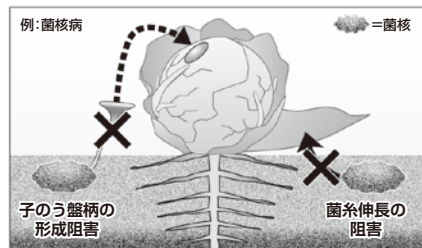
難防除病害の根こぶ病に優れた防除効果を発揮します。



本剤は、根こぶ病菌の感染に関わるあらゆるステージに作用し防除効果を発揮します。さらに、殺菌作用により土壤中の休眠孢子密度を低下させ根こぶ病の被害を軽減します。

Xはフロンサイドの阻害部位を示す。

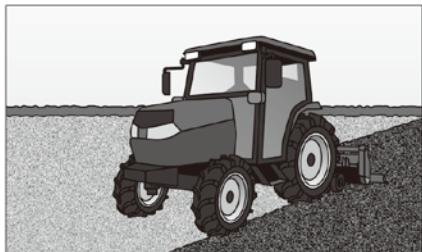
菌核病や苗木枯病にも安定した防除効果を示します。



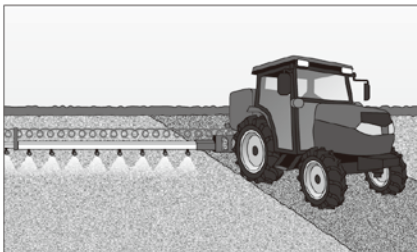
本剤は、病原菌の発芽や菌糸伸長を阻害することで作物への感染を防ぎます。また、菌核病の子のう盤形成阻害効果により孢子飛散による発病を軽減します。

Xはフロンサイドの阻害部位を示す。

全面散布土壤混和



粗おこし、整地

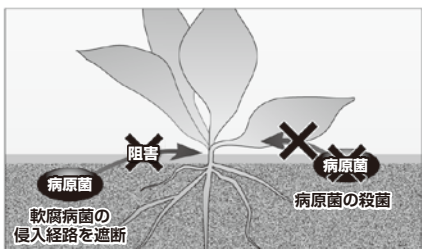


10アールあたり、本剤500mℓを水100~200ℓに希釈し、散布



本剤散布後に“ていねいに”混和

既存の薬剤とは異なる作用で軟腐病やすそ枯病などに高い予防効果を発揮します。



Xはフロンサイドの阻害部位を示す。

[レタスでの使用例]

土壤散布により本剤の処理層が形成され、病原菌の増殖、植物体への感染を防ぎます。

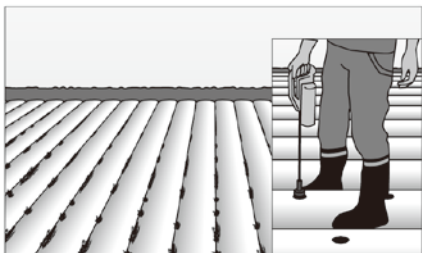
《病害防除メカニズム》

尻腐病・すそ枯病 本病は、作物の地際部で増殖することで発病します。

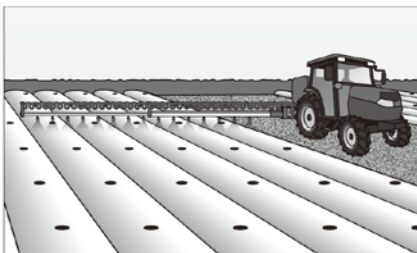
本剤は、土壌表面に生息する病原菌を殺菌することで防除効果を発揮します。軟腐病菌は自ら作物に侵入することができないため、作物にできた傷(土壌病原菌などによってできた傷、風雨など物理的な障害を受けた傷)から侵入し、感染します。本剤は、殺菌効果により土壌病原菌によってできる傷を防ぎ軟腐病菌の侵入経路を絶つことで防除効果を発揮します。

軟腐病

全面土壤散布

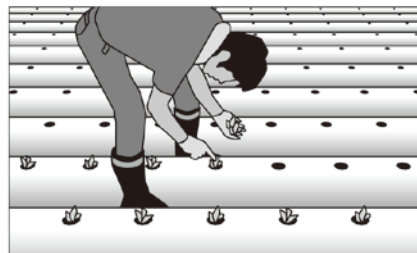


畦立て(同時マルチの場合はマルチングも実施)



10アールあたり、本剤500mℓを水100~200ℓに希釈し、土壌表面散布。

*マルチ穴あけ前の処理でも可能ですが、穴あけ後の散布をおすすめします。
 *マルチングを実施しない場合は、畦立て後に土壌表面へ散布してください。



土壤混和はせずに、そのまま苗を定植

*定植作業時には手袋などを着用し成分に直接触れないように注意してください。

全面土壤散布時の留意点 ●周辺(隣接)へのドリフトに注意する。●全面土壤散布は土壤混和を行わないため、根こぶ病への効果は期待できないので、注意する。

使用上の注意事項(一部抜粋)

- 本剤は皮膚感受性があり、皮膚かぶれ等を起こすことがあるので、使用前にはラベルをよく読んでください。また、かぶれやすい体質の人および、本剤または他剤でかぶれた経験のある人は、作業に従事しないようにしてください。
- 苗床で使用し、その苗を採苗、定植する場合には、必ず手袋を着用して作業を行い、直接苗に触れないように注意してください。
- 全面散布土壤混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和してください。降雨直後の処理は、混和むらの原因となるのでさけてください。
- 根こぶ病対象に本剤を多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので適用薬量の範囲で使用してください。
- 周辺にきゅうり、レタス等の作物がある場合には、薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 全面土壤散布で使用する場合は、畦立て作業後に所定量の薬量を均一に散布してください。
- キャベツ、はくさい、レタスおよび非結球レタスの全面土壤散布では、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後回復し、作物の生育、収量に影響はありません。(定植後の多雨または、過度の灌水条件で発生しやすい)
- だいこんに使用する場合は、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後の生育には影響しません。

ラベルを守って大切に使いましょう!
 適用作物、薬量(希釈倍数)、
 使用時期、使用回数を守りましょう
 石原は「食の安全」を大切にします

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
 ※空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は2021年9月時点での知見に基づいて作成しています。



取り扱い